

2022 年度4月及び 10 月入学
金沢大学大学院法学研究科(修士課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	法学・政治学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	民法		

問題 1

Aは、Bの所有する土地をBから賃借して、その土地上の建物（以下、「甲」という。）で学習塾を経営していた。学習塾には、多くの生徒が在籍しており、Aの経営は順調であった。Cは、Aの経営する学習塾の講師であったが、Aとは教育方針が合わなかったので、既に退職している。

Cは、業者を雇って、Dの所有する大きな庭石（以下、「乙」という。）を無断で持ち出した。その後、Cは、Aへの嫌がらせを目的として、甲の入口に乙を設置して、甲を使用することができないようにした。乙は、700キロの重量があり、Aが乙を自力で動かすことは不可能であった。その結果、学習塾の生徒が甲に入ることができなくなったので、Aは別の建物を月額15万円で借りざるを得なくなった。

Aは、誰に対し、どのような請求をすることができるか。必要に応じて場合を分けて、判例・学説を踏まえて論じなさい。

問題 2

A男とB女は2010年に婚姻したが、なかなか、子どもが出来なかったところ、結婚して10年目ようやく、妻Bが妊娠し、2020年1月1日、子Cが産まれた。AはCを大変可愛がり、大切に育てていた。しかし、Bがふさぎ込むことが増え、不審に思ったAが問いただしたところ、実は、CはAの子ではなく、DNA鑑定の結果、99%の確率でD男の子であると告げられた。Aはショックを受けたが、それでも、かわいい盛りのCを手放す気にはなれず、自らの子として育てていく決心をし、Bもいったんは納得した。

しかしながら、結局、2021年2月にAとBは、BをCの親権者として離婚することになった。現在、B・C・Dの3人は一緒に暮らしており、CもDを「パパ」と呼ぶなど、順調に成長している。BはCの将来のことも考え、AとCの法的父子関係を否定したいと考えている。この場合、BがCの法定代理人として提起したAに対する親子関係不存在確認の訴えが認められるか、判例、学説の立場にも言及しつつ論じなさい。